



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

「第三〇七号」

秋分 しゅうぶん

九月二十三日

伊勢西国三十三所観音巡礼

伊勢国の観音さまを巡る、そんな巡礼が三重県にもありました。「伊勢西国三十三所観音巡礼」といいます。

よく知られる西国三十三所観音巡礼は、紀州、河内、大和、京、播磨、丹後、美濃と広範囲にわたり、徒歩に頼る江戸時代には、二カ月はゆうにかかったといえます。これでは誰もが巡礼を行うには難しく、そのため各地に「〇〇西国」と西国巡礼を模倣した「うつし巡礼」ができるようになったのです。

伊勢国（三重県）にも、古くから伊勢西国が創設されてきました。

伊勢西国の大きな特徴は、お伊勢参りをした後に巡る順路になっているところおんざんたいこうじです。最初に立ち寄る番外が鳥羽市松尾の青峯山正福寺、第一霊場が潮音山大江寺と、伊勢神宮に近い南勢地域の寺から始まり、玉城、大台、度会、多気、松阪、津、鈴鹿、亀山、四日市、菰野、いなべ、桑名と、三重県を北上していくのです。そのため、古くから「もう一つのお伊勢参り」と呼ばれたそうです。

伊勢西国三十三所霊場会の事務局を務める松尾観音寺の木造住職によると、平成十八年に再編をし、時代によって異なるお寺も「元〇番」として組み込み、三十九ヶ所に落ち着いたといいます。伊勢神宮にお参りしたあと、さらに人々の悩み、苦しみから救ってくれるという観音さまに参る、ありがたい「もう一つのお伊勢参り」です。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 第25回 来る福招き猫まつり

9月29日は、「来る福」と縁起良く読めることから「招き猫の日」です。今年も、皆様の想いを叶える「ハレの日」の招き猫たちが、首ならぬ腕を長くしてお待ちしております。

と き／9月29日(日)まで 9:29～17:29 (催しによって異なる)

ところ／おかげ横丁一帯

※諸事情により、内容が一部変更または中止になる場合もございます。

● 招き猫現代作家展

招き猫は、江戸末期に日本で誕生し、現在では国内外で親しまれ個性あふれる作品として表現されるようになりました。そんな中から「吉兆招福亭」が選抜した招き猫作家11名が揃います。

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

● 吉兆招福鈴授与

地元の氏神様でお祓いを受けた縁起のいい福鈴を毎年絵柄の異なるポチ袋に入れて929個限定で配布します。

と き／9月29日(日) 9:29～

ところ／常夜燈前

● 残り福のおすそ分け

昔から「残り物には福がある」といいます。

招き猫の日のお祝いに小さな福のおすそ分けをします。

と き／9月29日(日) 16:29～

ところ／太鼓櫓

五十鈴塾

○ 健康で長生きする秘訣～人生は遊びだ～

40年以上に亘り、出版界で主として雑誌の編集に携わった経験を踏まえ、仕事を通じてお付き合いのあった人々や読者の方から学んだ、「健康寿命を延ばす秘訣」。そして、リタイア後に伊勢の地に移住し、雑誌『BE-PAL』や『サライ』で読者の方に勧めてきたライフスタイルを、今は自ら実践、検証してみてわかった「第三の人生の楽しみ方」について提案します。インターネットや新しいテクノロジーは、私たちに何をもたらしてくれるのでしょうか。それらを味方につけて、超高齢社会を楽しく生き抜くために役立つ情報と生活術を公開。また、『ビッグコミック』『少年サンデー』『BE-PAL』、『サライ』といった雑誌の編集を通じて知り合い出会った、手塚治虫さんからエリザベス女王までの、有名無名を問わない、人生の先輩たちの愉快で示唆に富んだエピソードも、可能な限りご紹介します。

と き／9月26日(木) 13:30～15:00

講師／岩本 敏 (エッセイスト・雑誌「サライ」元編集長)

参加料／一般1,450円 会員950円

場所／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

つきよ
月夜

こし餡の蒸し羊羹に栗を仕込み、秋たけなわの夜、月見に興じる楽しみを表しました。

はつもみじ
初紅葉

寒天の川面に羊羹の楓を流し、粒餡を巻きました。伊勢から黄色い楓の秋便りです。

はつかり
初雁

山芋を使った薯蕷生地で白餡を包み、雁の飛ぶ姿を焼印で表現しました。